

久宝寺寺内町の景観まちづくりについて考えよう！

久宝寺寺内町 景観と保全に関するセミナー ニュース Vol.1

八尾市を代表する歴史的景観が形成され「久宝寺寺内町まちなみ保全要綱」を有している久宝寺寺内町において、本年度、地域と行政が協力しながら、よりよい景観づくりの方向性や取組を検討していきます。今回はその検討の第1回を開催しました。今後、寺内町のまちあるきや他都市の視察も行いながら勉強、意見交換をしていきます！



第1回 開催概要

《日時》

平成30年7月14日（土）午後2時～

《場所》

久宝寺出張所（久宝寺コミュニティセンター）

《内容》

これまでの市の取組や久宝寺の景観に関する説明、まちづくり推進協の取組のご紹介をいただいた後、意見交換を行いました。

◆八尾市都市政策課 堀次長 あいさつ
今年4月から市全域で一定規模以上の建築に対して景観誘導を行っています。久宝寺寺内町は歴史的な景観資源が多数あり、それらをどう残していくか、皆さんと考えていきたいと思っています。

◆久宝寺寺内町まちづくり推進協議会 富山理事長 あいさつ
平成5年以降景観整備を行ってきましたが、最近よい景観が失われてきていると感じることがあります。そのためこういう会を持ち、皆さんにいろいろな意見を出してほしいと思っています。

■八尾市の取り組みについて 八尾市都市政策課

景観に関するこれまでの市の取り組みについて説明を行いました。

○八尾市都市景観形成基本計画、八尾市景観計画、八尾市景観条例の策定

- ・昨年12月22日に策定し、今年度から運用開始。八尾市独自基準で大規模な建築物に対し、周辺景観に調和したものとなるよう誘導を行っている。

○久宝寺寺内町まちなみ保全要綱（以下、要綱）

○今後の予定

①景観計画における景観重点地区の検討

- ・重点的に保全すべき地区について重点地区指定し、独自のきめ細かい基準を設定し、景観誘導を行う。
- ・要綱のある久宝寺寺内町は重点地区の候補地区である。

②公共空間に対する景観整備の検討

- ・道路の美装化等これまで取り組んできた場所で、より公共空間の景観の質を高めていく整備を検討する。

③景観発信の取り組み

- ・八尾市の魅力的な景観を伝える写真展を開催する。



■久宝寺寺内町の文化財と歴史的景観について 八尾市文化財課

久宝寺寺内町の文化財、景観の変遷について、昔の地図や写真から説明を行いました。

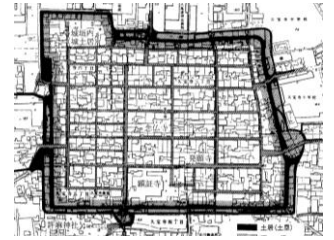
○久宝寺寺内町のまちなみの特徴

- 江戸前期からつづく町割が残っている。
- 建物は顕証寺と町家が特徴である。町家は江戸末期から明治の建物のつし2階の形式のものと、その後2階が高くなった総2階の形式のものが残る。

つし2階の町家



江戸時代からつづく町割



■推進協の歩みと取組み、そして今後について 久宝寺寺内町まちづくり推進協議会推進協

推進協の取組みと今後の景観づくりに対する思いについてお話いただきました。

- 歴史的環境を次世代に継承していきたい。水路は子どもたちと清掃を行うなど取組みを進め、守ろうという意識が浸透してきている。
- 宅地開発が進み、失われたものもあるが、今後何とか残していきたい。
- まちなみセンターの指定管理も昨年5年間の延長となった。皆さんの努力の賜物である。まちなみの維持・顕彰に今後も努めていきたい。



■意見交換

久宝寺寺内町の景観の課題や、今後意見交換していきたいことについて、たくさんご意見が出されました。

○主な意見

今後、寺内町の景観資源が失われないよう、市に建築物の届出等があった際に、地元で連絡がきて、地元と協議する仕組みがほしい。

城跡や物見の松を含めて景観をよくしていきたい。ベンチを置くなど見てもらえる場所の整備も考えていきたい。

中抜け（空き地）になっている場所が年々増加してきている。ガイドをしているが、案内する道のりにあり、よくないと思っている。

古民家の所有者が若い人に替わっていく。どうしたら古民家を残していけるか、一度集まってもらって意見交換したい。

要綱の通りになっていたら景観が保全されているはずである。要綱の問題点を検証しなければならない。

要綱の基準にのっとって建てられた建物の事例など、よい事例のお宅に話を聞くのはどうだろうか。

⇒今後は、地域と協力し合いながら久宝寺寺内町の景観資源を守っていく仕組みの検討を行うことになりました。

次回（第2回）の開催予定

《日時》平成30年9月17日（月）午後2時～

《場所》久宝寺まちなみセンター

《内容》次回は久宝寺寺内町のまちあるきを予定しています